

平成 23 年度 長野市立篠ノ井西小学校グラウンドデザイン

長野市教育大綱『敬愛の心』

深い思いやり 清らかな情操
基礎的な学力 強靱な意志体力
具現化に向けた、5つの視点

学校教育目標「楽しい学校の創造」

- 1 自分から進んで学習しよう。(主体性)
- 2 楽しく美しい学校にしよう。(創造性)
- 3 思いやる心を大切にしよう。(協調性)

「みんなでつくろう 楽しい学校」

- 【やる気】友だちといっしょにねばり強く考えよう
- 【気づき】目と心と体をはたらかせて学校をきれいにしよう
- 【思いやり】自分から気持ちのよいあいさつをしよう

「明日また学校で会おうね」

子どもの実態

- ・学習に対する集中力、課題へ取り組み姿勢が伸びてきている。
- ・友だちと仲良く行動する児童、親切にする児童が多い。
- ・共同追究において、友だちとの関わりを通じて、色々な見方や考え方に触れ、粘り強く追究する力をさらに高めたい。

学校長の願い

- (1)『子どもを真ん中に チーム西小』
- (2)心の底に『ふるさと愛』と『確かな学力を』
- (3)その子の育ちの過程に即した指導・支援と保護者の目線に立った指導のふり返り

本年度の重点

1 基礎学力の定着と伸びる力を一層伸ばす

- ・「学力向上推進プラン 篠ノ井西小学校」の共通理解と日常での実践
- ・授業改善＝指導力の向上
- ・各教科・領域の年間指導計画・全体計画の整備

2 豊かな人間性を育む

- ・「敬愛の心」畏敬・惜愛の念
- ・心の教育の充実
- ・いじめのない学校
- ・気持のよいあいさつ (学校で、家庭で、地域で)
- ・「子どもから何かを読み取る」教師の温かな“まなざし”
- ・人権同和教育の推進
- ・校長講話の充実

重点研究

全校研究テーマ「一人一人が自らの思いや願い・課題をもち、意欲的に追究していくための指導はどうあったらよいか」

研究の方向 子どもたちが自ら学びをつなげる学習「人・もの・こと」とつながり高まる学習

生活科研究部会

人権同和教育研究部会

情報教育研究部会

学力向上研究部会

教材研究・指導方法・評価研究

各教科・道徳・総合的な学習の時間・特別活動

- ・「授業がもっとよくなる3観点」の実践
①ねらい ②めりはり ③見とどけ
- ・「敬愛の心」具現に迫る5つの学習の視点に基づく授業実践
- ・各種学力検査・調査の分析と指導の振り返りと補充補完
- ・日々の子どもの実態把握と授業記録・記録の累積
- ・参観日「授業の見どころプリント」の配布
- ・ICTの活用

人権同和教育の推進

- 偏見や差別に気づき、許さない心
- 他者への気遣い・思いやりの心を育てる
- 素直によるこび合える心の交流
- なかよし旬間の実施

自然・体験型学習

- 学級園の栽培活動
- 地域の方々に講師をお願いした体験学習

国際交流 国際理解

- インターナショナルフェア2011の実施
- 多文化共生支援員との交流

児童会活動

- 他クラス・異学年間の交流
- 自分たちで考える児童集会や児童会行事
- 特別支援学校へ通う地域の児童との交流
- お互いを大切に(さん・くん)
- 「桜荘」訪問
- 大震災への支援活動

Action
改善・更新

Plan
指導プランの立案

Do 指導プランの
実施5月～12月

Check 評価・検証
7月・11月

学校評価

- 児童の授業評価
- 教師の自己評価
- 学校評議員会
- 地域開放参観日アンケート
- 各種学力検査・調査の結果
- Q-Uの結果

- 学級担任
- 係会
- 教務学年主任会
- 教務会
- 学校評議員会
- 学年会
- 研究部会
- 職員会

連携

- 保護者・地域の方々
- 巡回相談指導員
- スクールカウンセラー
- 中学校、特別支援学校他各種学校
- 学校訪問相談指導員
- スクールサポーター
- 読み聞かせボランティア

